

大津版災害時ファーストコンタクトの
資料を見ていただく前に

大津市消防団地域防災指導員の方々
大津市防災士の方々
に知っておいていただきたいこと

大津市消防団地域防災指導員や大津市防災士の方々に知っておいていただきたいことを取りまとめたものです。

本来であれば、当該資料は、他のすべての資料の冒頭に入れ、各資料をご確認いただく前の予備知識として再確認していただきたい内容ですが、データ容量の関係で、最初の資料として掲載いたします。大津版災害時ファーストコンタクトは、訓練でも災害現場でも、絶対に二次災害は起こさない、起こさせないという信念で実施いたします。

そのため、指導(伝えていただくこと)に係わるすべての者が、また、知識や手技を習得いただくすべての方々が安全な訓練ができるように、必ずこの資料をご確認いただき、運用いただきますようお願いいたします。

お願い

◆ 災害に強いまちづくりのために

- 消防団地域防災指導員と防災士の役割
- 地域で訓練をする際は消防署に届出を

お願い

災害に強いまち・大津をつくるためには、学区自主防災会はじめ、地域の団体や住民の方々が協力しあいながら、平時から災害発生時を想定した地域の防災力を高めていただく必要があります。

そうした中でも、『消防団地域防災指導員』『防災士』の方々には、実活動につながる知識や技術部分の普及を担っていただけるよう、消防局としてサポートしていく必要があると考えています。

今回、お伝えする内容は、『消防団地域防災指導員』『防災士』の方々を対象にお伝えいたします。

その上で、『消防団地域防災指導員』『防災士』の皆様には、地域の防災力向上につながる訓練の実施をお願いいたします。

もちろん、消防局は訓練の計画立案について相談に乗らせていただき、訓練時のサポートもいたします。

また、防火防災訓練の際における事故に備えて、大津市では「防火防災訓練災害補償等共済制度」に加入しており、その条件の一つに事前の届け出が必要となっていますので、訓練を実施される際には、ご遠慮なく、最寄りの消防署にご相談ください。

はじめに

◆大津版災害時ファーストコンタクトの目的

- 被害の軽減
- 二次災害の防止 ～安全管理～
- 手技
- 期待する効果
 - 会話や連携、助け合いの大切さの確認
 - 地域における共助体制の確立

はじめに

大津版災害時ファーストコンタクトは、長尺バールを使用した救出方法を、ただ単に広めようとするものではありません。

本来の目的は、大地震や土砂災害などの大きな災害が発生した際に、地域におられる方によって、少しでも被害を小さくしようとしていただく活動の一助になることを願っています。

そのためには、二次的な被害を防止するために、安全管理に係る知識の習得と実践をしていただく必要があります。

また、一連の手技を統一することによって、危険な行動等を規制する必要もあります。そして、このファーストコンタクトの活動には、チームとしての意思統一と息のあった活動をする必要があります。平常時における訓練などから会話や連携、そして助け合うことの大切さを確認してもらい、地域における共助体制の確立を期待しています。

はじめに

◆安全管理のABC

A : 当たり前のことを

B : バカにせず

C : ちゃんとやる

はじめに

『安全管理のABC』とは

安全管理の基本として、滋賀県消防学校では消防職・団員に必ず伝えられる内容で、安全管理における戒めの言葉です。

人前でこんなことで大きな声を出していたら恥ずかしい・・・

操法通りに声だしによる安全確認をしたから安全だ・・・

このように恥ずかしがったり、作業に慣れてくることにより、人は途中の作業(安全確認)を割愛してしまう傾向があります。

A: 当たり前のことを B: バカにせず C: ちゃんとやる

呼唱をするだけで安全確認が出来る訳ではありません。「安全確認、よし」と声に出すのであれば、常にしっかりした目線で安全を確認できるようにしましょう。

また、作業内容や危険要因を仲間に伝え、二次的な事故を防ぐためには、「安全管理のABC」の実践が必要です。

はじめに

◆危機（災害）に瀕すると

- 普段やっていることしか出来ない！
- 普段やっていることも満足に出来ない！
- 普段やっていないことは絶対に出来ない！

5

はじめに

これは、京都大学防災研究所の教授が言われていた内容のスライドです。

人間は、危機(災害)を目の当たりにすると・・・

- 普段やっていることしか出来ない！
- 普段やっていることも満足に出来ない！
- 普段やっていないことは絶対に出来ない！

ものであると。

例えば、防災資器材をそろえることは重要なことの一つではありますが、それを防災倉庫に備えられたとしてもそれだけでは何も変わりません。

それらの防災資器材を使う訓練を普段から実施すること、そして実災害を想定した訓練を実践しておくことが、最も重要なことです。

そして、繰り返しの訓練こそが災害時に役立つ力になることとなります。

消防職員は次の方に指導します

- **大津市消防団地域防災指導員**
- **大津市に登録する防災士**

受講後、自らの練磨＋復習



地域住民へ
ファーストコンタクトを指導できる

【このページは、いずれの資料にも必ず入っています。】

「安全管理の理論」からはじめる大津版災害時ファーストコンタクトは、大津市消防局として次の方々を対象に指導します。

- 大津市消防団地域防災指導員
- 大津市に登録する防災士

受講いただいた「大津市消防団地域防災指導員」と「大津に登録する防災士」の方々には、地域住民へファーストコンタクトが指導できるとさせていただきます。

指導いただく「大津市消防団地域防災指導員」と「大津に登録する防災士」の方々には、引き続き、これらに係る知識や技術の習得や練磨に励んでいただく必要はありますが、受講いただいたことを復習する意味で住民指導に当たっていただきます。但し、その部分を補完する意味で、次の要件を附させていただきます。

誰を対象に指導してもらうか

- 当該者がお住まいの地域の
自主防災会等

大津市消防団地域防災指導員

⇒ 分団管轄

大津市に登録する防災士

⇒ 学区内

条件 管轄消防署の職員が訓練に同席していること

先ず、誰を対象に指導してもらうかについてですが、当該者がお住まいの地域の自主防災会等の訓練参加者といたします。

つまり、大津市消防団地域防災指導員であれば、その方が属しておられる分団管轄、また、防災士であれば、その方がお住まいの学区内とします。

加えて、その訓練が実施される管轄消防署の職員が同席させていただくことを条件とさせていただきます。

消防職員のサポート条件

地域自主防災会等から「ファーストコンタクト」訓練指導の要請があった場合は、次の要件を満たした場合に出向します。

－要件－

- 「ファーストコンタクト」を受講した防災士等が訓練に参加していること。
- 防火指導依頼書（様式第43号）が提出されていること。

もちろん、指導をしていただきますのは、受講いただきました地域防災指導員や防災士の方々となりますが、住民に教えていただくためには、その機会を積んでいただくことが必要となります。

どの時点で単独での指導が可能にということではなく、指導時には住民からの予期せぬ質問等がありますので、そのサポート役として、管轄消防職員が臨場させていただきます。

消防職員がサポートさせていただきます要件は、次のとおりです。

－要件－

- 「ファーストコンタクト」を受講した防災士等 が訓練に参加していること。
- 防火指導依頼書（様式第43号）が消防署に提出されていること。

用語（例）

整理前		整理後
「大津版災害時ファーストコンタクト」 ～出火を防ぎ、余震等による不安定要因を除き、助けられる人は今助ける～		「ファーストコンタクト」
大津市消防団地域防災指導員		消防団地域防災指導員
大津市に登録する防災士		防災士
地域自主防災組織		自主防災会
救助者 (活動する住民)	隊長	活動リーダー（又はリーダー）
	隊員	活動する者（又はメンバー）
	隊	チーム
要救助者		負傷者（又は要救助者）
検索		探す（又は搜索）
長さ 150cm のバール		長尺バール
クリッピング		安定化
クリブ	4×4（インチ）	木片大（又は角材）
	2×4（インチ）	木片小
	シム	くさび

ここにあげた用語は一例です。
一般の方々に分かり易い用語を使いましょう。

ファーストコンタクトからの波及

- **正しい緒元性能を知ってもらう**



- **正しい使い方を知る**

「防災倉庫に資器材の整備が出来たからこれで大丈夫」、「資器材がただ使えたら良い」というものではありません。

使用資器材の正しい緒元性能を知ることが、正しい使い方を知ることになります。指導する者は、正しい使い方を学び、それを地域住民に伝えてあげてください。

例えば・・・ジャッキの使い方を
知ってもらっていますか？

爪つき油圧ジャッキG-60（今野製作所）



型式	G-60
■爪許容荷重	3 ton
■頭部許容荷重	6 ton
■ストローク	115 mm
■爪最低位置	19 mm
■爪長さ	50 mm
■爪幅	65 mm
■ベース幅	155 mm
■ベース長さ	236 mm
■本体高さ	233 mm
■質量	13 kg

例えば、爪つき油圧ジャッキG-60（今野製作所）の場合、

一見、許容加重が6トンあるように思われますが、爪の部分は半分の3トン。6トンとされるのは頭部の許容加重です。

また、爪の厚みは19mm、最大の持ち揚げ幅は115mm

取扱説明書には、細かな使用方法であったり、安全装置の記載など書かれています。あるから使うのではなく、緒元性能も含め、正しい使い方を知ってもらいましょう。

例えば・・・布担架の正しい 組立て方を教えてくださいか？

マツナガのポール担架（4ツ折足付把手伸縮

4ツ折足付

① 4ツ折れ状態から担架を広げ、
ストッパーと差し込みパイプを
直線上にします。



② ストッパーをスライドさせると、
ロックボタンがロックされます。
ロックボタンが確実に固定されているか
確認してください。



③ 差し込みパイプが確実に
差し込まれているか確認し、
ストッパーレバーで固定してください。

指等が挟まれケガの原因になる
可能性があります。



⚠ 注意

● 組立時、ストッパーと差し込みパイプを連結した際に、確実にロックボタンで固定されているか必ず確認をしてください。
(ケガ・事故の原因となります。)

例えば、マツナガのポール担架（4ツ折足付把手伸縮式）の場合

使用方法を知っておかないと、組立て時に手を挟んだりして怪我をすることがあります。